

公述の要旨とそれに対する市の考え方

	公述の要旨	市の考え方
1	本計画は、いつ、どこで、誰が決めたのか。市民の意思確認、説明、同意のもとに決めたことなのか。議会への説明は十分なものだったのか。大型公共事業が市民に説明の無いまま決まってしまう、市民が物申せない状況にある。	佐倉ふるさと広場につきましては、市民から親しまれている憩いの場であり、また、佐倉の観光拠点として、市内外から多くの方々に利用されている施設であることから、これらの貴重な観光資源を活かし、更なるまちの賑わいや消費喚起に寄与できるよう令和2年4月に公表した「佐倉市観光グランドデザイン・観光Wコア構想」に基づき、拡張整備を計画しているところです。 また、令和2年8月議会において、事業実施について説明し、用地測量費の予算案が可決されています。
2	市民に対する説明や市民参加の機会が充分ではなく、市民のニーズを聞いていない。市民の意見を反映するとともに、市民に対する情報提供や事業目的・成果の説明を行い、市民の理解を得ることが必要である。 茨城県洞峰公園のPFI事業では、市民の意見を聞くため、協議会の設置やアンケート調査、4回の説明会を実施している。	佐倉ふるさと広場の拡張整備につきましては、市民の皆さまのご意見も反映させていく必要があると考えています。今後、意見聴取の方法などについて検討してまいります。
3	人工的な公園にして民間事業者が売店や飲食店を建て、収益を得て、管理・運営することを市民は望んでいるのか。人工の構造物をつくることよりも、手つかずの自然を求めているのではないか。印旛沼とその周辺の環境は市民の癒しの場であり、また、環境や景観を保全すべき場所である。	公園施設の整備にあつては、印旛沼周辺の環境や景観に配慮した市民の癒しの場となるよう努めてまいります。
4	本計画は、ふるさと広場の隣地を買収し、民間事業者を長期間、その運営主体とし、収益は民間が受け取るというもの。PFIの目的である、民間資金を入れて財政負担を軽減することになっていない。 土地の買収費用や整備費用として、税金を当初から投入するにあたっては、その必要性、相当性が問われなければならない、事業の費用対効果やPFI導入のリスクマネジメントの検証が足りていない。参入した民間事業者が赤字になり、途中で手を引くとなった場合どうするのか。	市では、従来の市が直営による整備に比べ、Park-PFI等により民間事業者の資金やノウハウを活用することにより、施設整備費や維持管理・運営費について財政負担を軽減しつつ、施設の魅力を高めることができると考えています。 なお、Park-PFI事業は、民間事業者が設置管理許可を受けて公募対象の公園施設を整備、運営する制度となっていることから、経営責任については全面的に事業者が負うこととなりますが、外的な要因により事業の継続が困難な状況に陥らないよう引き続き調査・検討を進めてまいります。
5	用地買収にかかる金額を明らかにしていただきたい。不動産鑑定士に高額な鑑定料を支払って鑑定すると聞いているが、そもそも農地としての評価は既に出ている。それを基準として買い取りの交渉をすることはできないのか。	用地費については、今年度実施する不動産鑑定により確定する予定です。不動産鑑定は、不動産の経済価値を判定し、その結果を価額に表示するものであり、不動産の売買にあたっては適正な買取価格を決定するために必要不可欠であると考えております。
6	市民は日常の生活の安定、安心、安全を望んでいる。今、市がなすべきことは事務処理誤りを起こさないよう市政運営の立て直しと、市民生活や医療・教育の支援、コロナ対策等の福祉の増進、経済の疲弊への支援である。リスクマネジメントができていない本計画に税金を使うことに強い懸念を表明する。	佐倉ふるさと広場の拡張整備につきまして、市民の皆様にご理解いただけるよう努めてまいります。
7	47万人の観光客を集め、地域経済循環率を高めることが目的となっているが、年々来場者が減っている中で47万人という数字はきわめて楽観的な数字である。計画図から従来のチューリップ祭り時の畑の面積が半分くらいになっている。これでは市外の人が見に来てくれる可能性が大幅に減少するのではないか。本当に市の計画通りに人が来てくれるのか。	佐倉ふるさと広場につきましては、花が咲いている時期に来園者が集中しているという課題があることから、チューリップフェスタ以外にも年間を通じて市内外から来園いただけるような公園を整備してまいります。
8	観光客に期待した計画は失敗の可能性が大きい。赤字にならないためには何よりも市民の利用が不可欠である。有料施設化したふるさと広場をどれだけの市民が利用するのか疑問。	整備計画のコンセプトの1つでもある「市民の憩い・活躍の場」として、市民の皆さんに訪れていただけるような公園を整備してまいります。